

会 社 名 ジャパンエレベーターサービス ホール ディン グス 株式 会社

代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 CEO 石田 克史

(コード番号:6544 東証プライム市場)

問い合わせ先

I R 室

TEL: 03-6262-1624

JES Innovation Center Kansai 竣工に関するお知らせ

記

当社は、本日、兵庫県宝塚市に JES Innovation Center Kansai (通称 JIK) を竣工しましたのでお知らせいたします。JIK は、大型パーツセンターのほか、研修施設、コントロールセンター、リニューアル制御フロアを併設しており、現在 JIC (埼玉県和光市) にて稼働している機能の西日本への展開を担う施設になります。

JES グループは、東京証券取引所に上場した 2017 年から事業子会社の設立や M&A を通じて着実に営業エリアを広げ、現在では日本全国で営業拠点数 138 拠点 (2024 年 3 月 28 日時点)、保守契約台数約 96,740 台 (2023 年 12 月末時点) と独立系メンテナンス会社最大手として、ますます成長を加速させています。

<上場来のグループ沿革と保守契約台数の推移>

保守契約台数(注)		沿革
2017	38,800	東京証券取引所マザーズ市場上場 シャパンエレベーターサービス関西(株) 設立、JES Innovation Center(通称JIC)開設
2018	43,400	東京証券取引所市場第一部へ市場変更
2019	48,800	ジャパンエレベーターサービス九州(株)設立
2020	54,800	JES Innovation Center Lab(通称JIL) 開設 セイコーエレベーター(株)、(株) NSエレベーター、(株) 三好エレベーター、 (株) コスモジャ/じ、(株) 長野エレベーター、(株) 関西エレベーターを子会社化
2021	67,500	東京エレベーター(株)、(株)トヨタファシリティサービス、エヒメエレベータサービス(株)、四国昇降機サービス(株)、四国エレベーターサービス(株)を子会社化
2022	79,000	ジャパンエレベーターサービス中四国(株)設立 (株)関東エレベーターシステム、生田ビルデイングメンテナンスを子会社化
2023	88,630	(株)エミックを子会社化
2024	96,740	(株)エレドック沖縄を子会社化 JES Innovation Center Kansai(通称JIK)開設
(注) 数字は3月末時点のグループ保守契約台数。2024年は2023年12月末のデータ。		

この施設は、西日本エリアの物流を担う拠点として、伊丹空港、中国自動車道 宝塚 IC から近い位置に所在し、強力な BCP 体制を備えた大型施設です。新規進出エリアの多い西日本における、サービス品質の更なる向上、安定的なパーツ供給、故障など緊急時にも迅速に対応できる体制の強化を目的として開設します。

JES グループは、今後も安心・安全で快適にエレベーター等昇降機をご使用いただくため、技術力・サービス品質の更なる向上を目指してまいります。

<対応可能エリア推移>

【JIKの主な特徴】

・西日本エリアの部品供給迅速化、輸送コスト削減

2017年10月に竣工したJIC (埼玉県和光市)に次ぐ、大型のパーツセンターを設置し、メーカー各社のエレベーターパーツを東海・関西・中四国・九州エリアへ迅速に供給できる体制を構築いたします。現在、JIC から各パーツセンターや拠点に供給しているパーツや制御盤などの大型部品を直接 JIK へ納入することにより、輸送コストの削減が可能となります。また、CO2 排出量の軽減を見込んでいます。

・リニューアル事業拡大

昨今の高いニーズに対応できる供給力を高めるため十分な制御フロアを確保し、生産性と物 流面での効率化を進めてまいります。

• 災害対応強化

大規模災害に備えるため、JIK においても非常用発電約 78 時間分の電力を確保し、屋上に設

置したソーラーパネルから非常用発電に使用する電力を補充しています。また、屋上には約8200 貯水可能な雨水槽を設置し、浄化した雨水を災害時のトイレ洗浄水に再利用できるシステムを導 入しています。

【JIK 概要】

所在地	〒665-0043 兵庫県宝塚市高松町 2-1
敷地面積	3, 675. 49 m²
延床面積	3, 384. 42 m²
規模	3 階建て
竣工日	2024年3月28日
施設	・パーツセンター
	・リニューアル制御フロア
	• 研修施設
	・コントロールセンター
	・宝塚営業所 (予定)

< JIK 外観写真>



<JIK 位置図>



以 上